

【田川人権擁護委員協議会】

田川協議会では、令和6年12月7日、田川市主催の人権講演会において、第43回全国中学生人権作文コンテスト福岡県大会で奨励賞を受賞された田川市立田川西中学校の鵜星海さんの表彰式を行いました。

福岡法務局田川支局長から表彰状の授与を行った後、鵜さんによる作文の朗読会を実施しました。作文は田川市の海外派遣事業に参加して、共生社会の先進国であるドイツに行ったときに感じた思いや日本の現状との違い、ドイツでの様々な体験を通じて考えた今後の生き方に関する内容であり、来場者は真剣なまなざしで聴講されていました。

また、講演会開演前に、鵜さんを一日人権擁護委員に委嘱し、田川人権擁護委員協議会所属の人権擁護委員や人権イメージキャラクターの「人KENまもるくん」と一緒に来場者への街頭啓発を実施しました。来場されていた村上卓哉田川市長にも啓発物品を配布の上、併せて記念撮影を行うことができました。



【田川人権擁護委員協議会】

令和6年5月22日、田川郡添田町立真木小学校、同月28日、田川市立弓削田小学校、6月28日、大任町立大任小学校、7月4日、福智町立伊方小学校の4校で開催された「人権スポーツ教室」では、小学4年生から6年生を対象に、プロバスケットボールチーム「ライジングゼファーフクオカ」の選手からバスケットボールを通じて、相手を思いやる心の大切さや応援・励ましが相手の力（やる気）になることを教わりました。

児童らは終始笑顔が絶えず、また、選手のプロとしての力を目の当たりにして、感動と学びの90分を過ごしました。

また、人権擁護委員からは、安心してスポーツを楽しむために必要なことやSOSミニレターの紹介を行い、ひとりで悩まず、相談することの大切さを伝えました。

